

## ボブベックのやさしい投資信託

第30回 株式型投資信託のリスク  
その6

先週まではインデックスファンドの長所や短所を解説してきました。今週はアクティブファンドの一つであるテーマファンドについて解説しましょう。

### (7-C)テーマファンド

「テーマファンド」といったカテゴリーが投信の分類として存在しているわけではありません。しかし、最近では「エコファンド」や「インターネットITファンド」のように、テーマを絞って運用するファンドが人気を集めています。また、数年前には「株主優遇ファンド」や「公共投資ファンド」といったファンドが多くの資金を集めました。そこで、このように「一つのテーマ」を決めてそれに関連する銘柄を購入するテーマファンドについて、投資する際の注意点について考えてみましょう。

#### テーマファンドはリスクが高い

一つのテーマで投資対象企業を絞り込むのですから、結果として同じような株価の動きをする企業が集まってしまうがちです。当然、分散投資の効果は半減します。

#### テーマの内容を確認しよう

同じような名前のファンドでも、ファンドマネージャーが意図している企業の範囲は大きく違う事があります。インターネットファンドであれば、「インターネットを利用している企業に投資する」のか、それとも「インターネットによるサービスを提供している企業に投資する」のか。エコファンドであれば、「環境を守るための機械を販売している企業に投資する」のか、それとも、「他の企業に比べ環境の破壊度が少ない企業に投資する」のか。受益証券説明書を良く読んで、そのファンドが意図している投資対象企業群を明確にしてから投資すべきでしょう。

#### 何故そのファンドに投資するのか

「環境に留意する企業は、将来的に業績の成長が見こめるはず」と考えてエコファンドに投資するのか？それとも、「投信といえども投資。環境を破壊するような企業には投資をしたくはない。収益性はさておいても、自分の投資したい企業に投資するために、そのファンドを購入する」のか？何故そのファンドに投資するのかを明確にしておきましょう。投資の目的が明確でないと、運用の結果が芳しくない時に不安になってしまいます。

#### テーマファンドは儲かるのか？

これを解説するためには、株式の値段がどのように形成されるかを理解する事が必要です。そこで簡単に株価の形成要因について考えてみましょう。

株価は長期的に、その会社のファンダメンタルを反映します。業績が良くなれば、株価は上昇し、業績が悪化すれば、株価は下落するのです。これだけ考えれば、将来業績が伸びると一般に考えられるような会社の株式を購入するテーマファンドは、非常に魅力的なファンドという事になります。

ただし、一つだけ盲点があります。株価はその会社の業績を反映するのですが、そこに予想が入りこむということなのです。つまり、ある会社の業績が「10年後に今の10倍になる」とみんなが考えれば、株価はそれを折りこんだものになるのです。その場合、みんなが予想した「業績が今の10倍」になっただけでは、株価はそれ以上に上昇する事はありません。みんなが「業績が今の10倍になる」と予想しているのであれば、実際の業績がそれ以上に良くならなければ、株価はそれ以上に上昇しないのです。

テーマファンドというのは、テーマでくられた産業や業種が、今後大きく成長するだろうという見通しの中で設定されます。しかし、世の中の多くの人が、同じようにその業界の成長を信じているとするならば、その予想を上回るような成長がない限り、そのファンドが投資した銘柄の株価が上昇する事もないわけです。そう考えると、世

の中で大きく取り上げられるようなテーマを題材にしたファンドが設定され、多くの資金が集まるような時には、要注意と考えた方が良いでしょう。